

履 歴 書

令和 4 年 11 月 01 日 現在

フリガナ	オ ビョンホン	性別
氏 名	吳 炳憲	男
生年月日	平成 9 年 10 月 14 日 (満 25 歳)	
フリガナ	カンコク キョンサンナムド チャンウォンシ マサン フェウオング ハッソンイルトン 69-13 〒 51208 韓国 慶尚南道 昌原市 馬山会原区 合城一洞 69-13 (英語) 83, Hapseongbuk 15-gil, Masanhoewon-gu, Changwon-si, Gyeongsangnam-do, Republic of Korea	
電話番号	(自宅電話) +82 (0) 55-292-1526 (携帯電話) +82 (0) 10-5528-4608	
E-Mail	byorusia@gmail.com	
フリガナ		
連絡先	〒 (現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入)	
連絡先電話番号	+82) 010-5528-4608	



年	月	学歴・職歴
		学歴
平成 25	3	馬山昌信高等学校 入学
平成 28	2	馬山昌信高等学校 卒業
平成 28	3	釜山外国語大学 日本語創意融合学部 入学
令和 29	1	釜山外国語大学 日本語創意融合学部 休学
平成 29	2	海軍入隊 (～平成 31 年 1 月 満期除隊)
平成 31	3	釜山外国語大学 日本語創意融合学部 復学
令和 2	8	釜山外国語大学 日本語創意融合学部 休学
令和 3	8	釜山外国語大学 日本語創意融合学部 復学
令和 5	2	釜山外国語大学 日本語創意融合学部 卒業見込み
		職歴
令和元	7	慶尚南道青少年国際交流 通訳・翻訳アルバイト (～令和元 7 月)
		以上

年	月	免許・資格
平成 30	4	日本語能力試験 JPT 910 点 取得 (990 点満点)
令和 2	12	日本語能力試験 N1 合格
令和 3	3	ウェブデザイン技能士 取得 (韓国の国家公認資格)
令和 4	6	情報処理技師 取得
令和 4	12	普通自動車 第二種免許 取得予定

得意科目・専攻科目 (学業で力を注いだこと)**◆日本語と IT**

私が学業で力を注いだことは日本語と IT です。日本語は高校 2 年生から独学で学んできたため、日本語で会話する能力が特に欠けていました。そのため「異文化体験、日韓交流」などのプログラムに積極的に参加し、日本人と会話することでコミュニケーション能力を身につけました。さらに、「日本語のビジネスマナーと敬語、日本歴史と文化」など日本に対する幅広い知識を得るように努力しました。一生懸命に学業に取り組んだ結果、何度か成績優秀者として奨学金をもらうことが出来ました。また、日本語だけで満足せず、新しいことに挑戦しました。「IT 実務日本語、日本語 WEB プログラミング」の授業がきっかけで、自分の成長を形に出来る IT に魅力を感じました。例えば、授業で習った JavaScript を使い、単語ゲームをチームで作る課題がありました。私はどのチームよりも質の良い作品を作りたいという気持ちから授業で学んでない技術 (API、Bootstrap、Canvas)などを導入し、パートナーと協力し作り上げました。その結果、私たちの努力や能力が認められ、私はモノ作りが好きになりました。

この様に私は常に現時点より成長したいという「向上心」を持ち、すぐに行動に移す「行動力」があります。この長所を活かして、一人前の開発者になりたいと思います。

制作アプリケーション (GitHub): <https://github.com/hil004/Typing-Game-App>

学業以外で学生時代に力を注いだこと**◆サークルで行ったチームプロジェクトで 6 人全員が協力し、Web サイトを制作する事に成功**

学生時代、新入部員を対象に私が主管した Web スタディーを通して Web サイトを立ち上げる事に力を注いできました。一緒にサイトを作るにあたって、新入部員は Web 知識がなく、Web サイトを作った事もないため、少し不安を感じていました。そこで、「Web 開発の楽しさを新入部員に知ってもらい、成長に繋げてもらいたい」という想いで自ら Web スタディーという勉強会を始めました。活動の中で一番の挫折経験は、一部のメンバーが無断欠席ややる気がないなど、スタディーができない状況に至りました。原因は「授業が面白くない」、「説明が早くて理解できない」ということが大半でした。そこで、私はリーダーであるという責任感と、諦めたくないという気持ちからスタディーのやり方を変える事を決意しました。教科書を読みながら説明だけしていた既存の授業のやり方を一緒にコードを入力しながらコミュニケーションを取るやり方に変えました。また、やる気がない部員に対しては私が 1 対 1 で面談や理解できなかった授業内容などを教えたりしました。その結果、スタディーの参加率が上がり、楽しい雰囲気の中で習得した知識を用いて Web サイトを立ち上げることができました。

以上の経験から、私は常に冷静に対処する判断力と根気、そして、なにより「必ず成し遂げる」という情熱が大切である事を学びました。

制作アプリケーション (GitHub): <https://github.com/hil004/Jbit-IT-Group2-HomePage>

趣味・特技

- ・趣味：ボードゲーム（週に3～4回は家族や友達と頭脳を使うボードゲームをします。集中力を発揮し、楽しくプレイすることでストレス解消になります。）
- ・特技：集中力（周りに惑わされず、一つの事に没頭することが出来ます。パソコンの前で18時間ずっと集中して開発した経験があります。）

自己PR（セールスポイントなど）

◆**行動力と目標達成意欲により、サークルの広報サイトをチームで立ち上げ、部員数2倍達成**
私は目標達成のために客観的に状況を判断し、物事を推進する行動力がある人です。私は大学ITサークルで副会長として活動した時、3人チームで、1ヶ月間広報サイトを製作した経験があります。当時の目標はサークルを効率的に広報し、新入部員を増やすことでした。既存のポスター広報はサークルの紹介の情報が制限されることや申込みを電話で受け取るなどの課題がありました。そこで、学生たちがPCや携帯をよく使うことを考慮し、UI/UXを中心とした広報サイト作成に注力しました。周りからはチーム開発経験もない私に「短期間でサイトの制作は無理だろう」と思われていましたが、私はプロジェクトリーダーとして諦めず、目標達成のためにチームと協力しました。まず、チームの人と効率的にコミュニケーションを取れるように「Slack」を活用しました。また、デザインや申込をメッセージャーに連携する機能を導入するなど様々なアイデアを提案し、広報サイトを作り上げる事が出来ました。その結果、部員が20名から40名に増え、目標としていた事を成し遂げました。

この様に目標を達成するために状況を客観的に判断し、すぐに行動することが私の強みです。これからもこの強みを持って顧客のニーズを把握し、目標を積極的に成し遂げようとする姿勢で、貴社の成長に寄与していきたいと思います。

制作アプリケーション(GitHub): <https://github.com/hil004/United-IT-Promotion>

日本で仕事をしたいと思う理由

◆成長できる環境を重視

一つ目は「内面の成長」です。私は学校の日韓交流プログラムに参加し、日本の学生との交流した時、最初は違う文化を理解できず、簡単に受け入れなかったことも多かったです。しかし、交流会や体験学習を通して、異文化に対する受容力と価値観の拡大ができる貴重な機会になりました。そして、家族や友人と離れた生活で自立心をもって前に進む力を持つことができました。この経験を通して、韓国で働くよりも海外・日本で働く方が得られるものが多いと確信しました。

二つ目の理由は、「日本語専攻者としての成長」です。私は高校の時から日本語の勉強を始め、大学でも日本語を専攻しました。長い期間勉強してきた日本語にとっても愛着を持ち、社会に出てもこの日本語を使いながら更なる成長を遂げたいと思いました。また、人のポテンシャルを信じて、未知の領域にも挑戦できる日本企業の教育システムを通して、自分の新しい道を作れる可能性があると思いました。私は自分の個性と今まで勉強してきたものを業務で活かすことで知識や経験を重ね、社会の一員として認められたいです。